

平成 15 年度卒業試験問題 科目：リハビリテーション医学 (平成 15 年 12 月 17 日実施)

以下の問に、1～5の番号で解答せよ。

問 1 リハビリテーション診断学における問診と診察について、正しいのはどれか。

- ア. 職場、家屋、家族に関する具体的な環境を問診する。
 - イ. 対象となる障害は、機能障害と能力障害である。
 - ウ. 筋緊張は、座位や立位よりも安静臥位での所見が重要である。
 - エ. QOL (生活の質) については自立生活達成を前提とする。
 - オ. 個別的所見を診察する前に、全身動作を観察する。
1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

問 2 わが国の成人身体障害者(身体障害者手帳所持者)の対総人口比について正しいのはどれか。

- 1. 1:40
- 2. 1:80
- 3. 1:400
- 4. 1:800
- 5. 1:8000

問 3 障害の 3 層分類で、機能障害に属するのはどれか。

- 1. 歩行困難
- 2. 大腿切断
- 3. 摂食困難
- 4. 更衣不能
- 5. 生活保護

問 4 誤っているのはどれか。

- 1. 底屈は足関節の運動である。
- 2. 背屈は手関節の運動も示す。
- 3. 下垂足は足関節底屈筋の麻痺で起こる。
- 4. 大腿四頭筋は膝関節の伸筋である。
- 5. 上腕二頭筋は肘関節の屈筋である。

問 5 歩行について誤っているのはどれか。

- ア. 歩行周期は立脚相と遊脚相の和である。
 - イ. 正常歩行時の立脚相は歩行周期の 60% を占める。
 - ウ. 両脚支持期は歩行速度が遅くなるほど減少する。
 - エ. 一側の踵が接地してから次に反対側の踵が接地するまでの動作を stride と呼ぶ。
 - オ. 左右の足間の幅を歩隔と呼ぶ。
1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

問 6 肩関節の運動と筋の組み合わせで誤っているのはどれか。

- ア. 三角筋・棘上筋 ----- 外転
 - イ. 三角筋・烏口腕筋 ----- 屈曲
 - ウ. 広背筋・大円筋 ----- 伸展
 - エ. 肩甲下筋 ----- 外旋
 - オ. 棘下筋・小円筋 ----- 内旋
1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

問7 徒手筋力テスト (MMT) について正しいのはどれか。

1. 汎用されるテスト法は6段階評価である。
2. 間隔尺度である。
3. 測定時の姿勢や肢位には影響されない。
4. 拘縮のある関節運動に関わる筋の測定には適応がない。
5. 中枢性麻痺の評価に適している。

問8 温熱療法の方法で、最も深部まで熱の到達が期待されるのはどれか。

1. ホットパック
2. パラフィン浴
3. 赤外線照射
4. マイクロウェーブ
5. 超音波

問9 短下肢装具 (Ankle Foot Orthosis) の目的で誤っているのはどれか。

1. 反張膝の防止
2. 足関節の変形防止
3. 足趾の変形防止
4. 足背屈筋力の増強
5. 立位感覚の促通

問10 異常歩行とその原因の組み合わせについて、正しいのはどれか。

1. 脳卒中片麻痺 --- 分回し歩行
2. 周期性四肢麻痺 --- 間欠性跛行
3. 重症筋無力症 --- Trendelenburg 歩行
4. 脊髄小脳変性症 --- 小刻み歩行
5. 筋萎縮性側索硬化症 --- はさみ足歩行

問11 片麻痺における中枢性麻痺について正しいのはどれか。

- ア. 非対称性緊張性頸反射では、患側に顔を向けると患側上肢の屈曲が促通される。
イ. 対称性緊張性頸反射では、頸の伸展により患側上肢の屈曲が促通される。
ウ. 共同運動では、ある筋単独では動かず、筋群が一定のパターンで同時に動く。
エ. 連合反応では、健側に力を入れると患側に同種の運動が無意識に起こる。
ア. 末梢性麻痺は質的变化、中枢性麻痺は量的変化を表現するといえる。
1. ア、イ
 2. ア、オ
 3. イ、ウ
 4. ウ、エ
 5. エ、オ

問12 患者にマッチでタバコに火をつけるなどの一連の動作を指示すると、動作が前後したり、中止したりして目的を達成できない。

この症状に関して正しいのはどれか。

- ア. 観念失行である。
イ. 観念運動失行である。
ウ. 右半球病変で生じることが多い。
エ. 視空間失認を合併することが多い。
オ. ふだんの生活場面では自然にできていることがある。
1. ア、イ
 2. ア、オ
 3. イ、ウ
 4. ウ、エ
 5. エ、オ

問13 30歳右利き男性が、日中テニスをしている時、突然頭痛を生じ、急速に意識障害を呈して救急部に搬送された。直ちに施行された一連の検査で頭頂部に図の如き所見が検出され、即日開頭手術が行なわれた。翌日、回復室からリハビリテーション科に往診を依頼された。全身状態は良好で、口頭指示に対する応答は可能だった。



リハビリテーションに関して、翌日回復室で実施すべき内容として適当なものはどれか。

- ア. 片麻痺機能テストの実施
- イ. 関節可動域訓練
- ウ. 筋力増強訓練
- エ. 装具着脱訓練
- オ. 標準失語症テストの実施

- 1.ア、イ 2.ア、オ 3.イ、ウ
- 4.ウ、エ 5.エ、オ

問14 上記患者で、術後2週間経過したリハビリテーション中に認められる機能形態障害はどれか。複数選択せよ。

- 1. 右片麻痺
- 2. 左片麻痺
- 3. 運動性失語
- 4. 一側性無視
- 5. 構成障害

問15 脊髄損傷の症状について正しいのはどれか。

- ア. 完全脊髄損傷のショック期でも反射は一部残っている。
- イ. 肛門周囲知覚の存在は脊髄損傷が不完全であることを示している。
- ウ. 手内筋は第一胸髄節のキーポイント筋である。
- エ. 中心性脊髄損傷は下肢の回復が悪い。
- オ. 急性期脊髄損傷では尿閉は起こらない。

- 1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

問16 脊髄損傷者の機能について誤っているのはどれか。

- 1. C3レベル（第3頸髄節まで残存、以下同じ）の頸髄損傷では呼吸補助が必要となる。
- 2. C5レベルの頸髄損傷では肘の伸展は重力に頼るほかはない。
- 3. C8レベルの頸髄損傷では車椅子の平地走行が可能である。
- 4. Th6レベルの胸髄損傷では実用歩行が可能である。
- 5. L3レベルの腰髄損傷では装具による交互歩行が可能である。

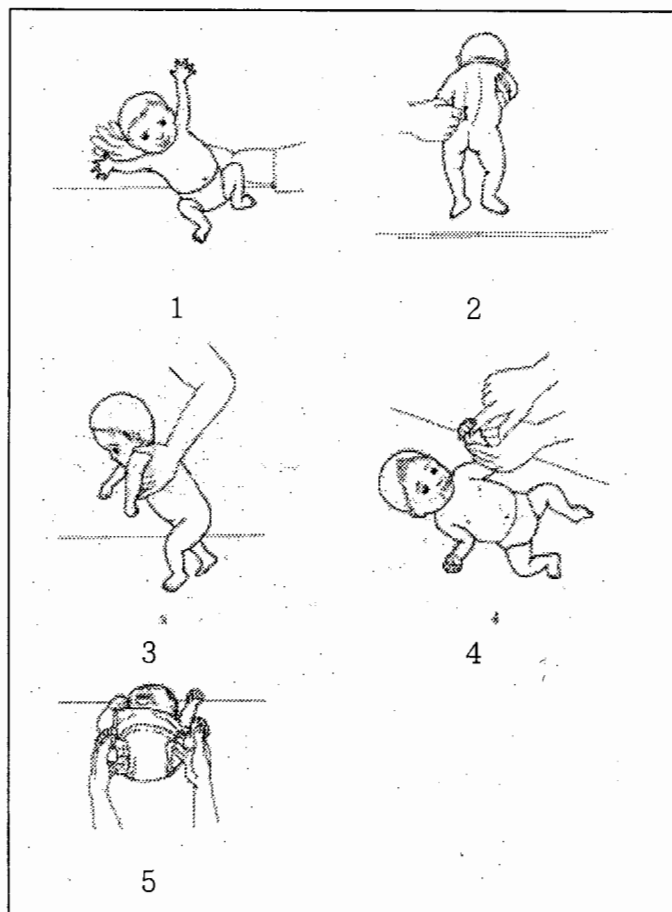
問17 脳性麻痺について誤っているのはどれか。

1. 原因としては周産期の異常がもっとも多い。
1. 小児の脳は代償力が大きいので、軽度の片麻痺は成長につれてほとんど消失してしまう。
2. 初期発達の過程で、低緊張状態から痙直型あるいはアテトイド型と障害像が変化する。
4. 痙直型とアテトイド型とが合併した混合型の発生頻度は極めて低い。
5. アテトイド型では成人期に頸椎症を合併する例が少ない。

右の図を見て、以下の問18、19に答えよ。

問18 乳児期の反射で Galant 反射の手技を示すのはどれか。

問19 正常児でもっとも早く消失する反射(反応)はどれか。



問20 パーキンソン病に対するリハビリテーション訓練で正しいのはどれか。

- ア. 体幹の屈筋群の強化をはかる。
 - イ. 胸郭可動域を拡大する訓練を避ける。
 - ウ. 転倒に対する配慮が必要である。
 - エ. 出来るだけ大きな字で書字訓練を奨励する。
 - オ. 手関節部に重りを付加することで症状が改善する。
- 1.ア、イ 2.ア、オ 3.イ、ウ 4.ウ、エ 5.エ、オ

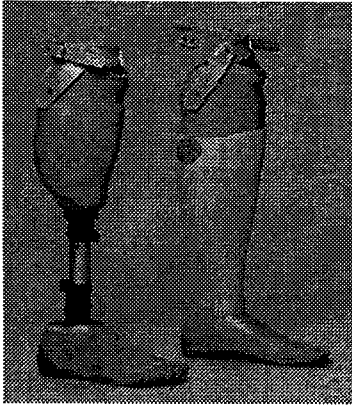
問21 大腿骨頸部骨折について誤っているのはどれか。

1. 男性より女性に多い。
2. 高齢者ほど頸部外側骨折の割合が増える。
3. 歩行訓練では患側に杖を持つよう指導する。
4. 膝関節周囲の疼痛を訴えることがある。
5. 人工骨頭置換術後は股関節の屈曲・内転・内旋の肢位を避ける。

問22 切断について正しいのはどれか。

1. 膝離断は断端の形状から荷重がしにくい。
2. 悪性腫瘍による四肢切断は増加傾向にある。
3. 末梢血行障害による下肢切断の生命的予後はよい。
4. 幻肢痛は年齢に関係なく出現する。
5. 足部切断は糖尿病による例が多い。

問23 下図はいずれも下肢切断者用の義足で、製作過程に相違はあるが同一方式である。以下のどれに該当するか。



1. カナダ式股義足
2. 吸着式大腿義足
3. PTB 下腿義足
4. KBM 下腿義足
5. サイム義足

問24 関節リウマチのリハビリテーションについて誤っているのはどれか。

1. 関節角度の測定は他動的可動域について行うのが原則である。
2. 関節については保護が、筋については廃用を予防することが重要である。
3. 歩行障害に対し杖を与える場合、上肢の障害に対する配慮が必要である。
4. 靴の敷皮の工夫によって歩行時の足底の痛みをなくすことが出来る。
5. 自助具による能力の拡大がかなり可能である。

問25 糖尿病・肥満の運動療法について正しいのはどれか。

- A. 基本的な運動内容は、四肢体幹の筋力維持を目的とする。
- I. 有酸素運動を中心に心肺機能の強化を図る。
- U. 糖代謝に留まらず、脂肪、蛋白代謝も改善を図る。
- E. 介助運動、他動運動がよく用いられる。
- O. 網膜症などの合併症があっても、積極的に処方する。

1. A、I 2. A、O 3. I、U 4. U、E 5. E、O